

国際基督教大学 求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

国際基督教大学（以下、ICU）の教員は、教授、准教授、助教、講師からなる専任教員と、その他の職名の教員から構成されます。教授、准教授、助教となる教員（以下、助教以上の教員）は、大学の目的と計画を深く理解し、その遂行に積極的な信念を有するキリスト者と定められています。例外的に、非キリスト者で、本学のキリスト教理念を深く理解し、その遂行に積極的な信念を有する者を採用する場合があります。講師及びその他の職名の教員にも、本学のキリスト教理念を深く理解し、尊重することが求められています。

ICUの専任教員は、(1) 研究、(2) 教育、(3) サービス（大学等への貢献）の3分野において、任務を遂行します。

(1) 研究：ICUの教員には、活発な研究活動が求められます。教員が自らの研究を深めることで、より高い教育効果も得られます。

- ・ 学会などの学外での活動。
- ・ 学内にある研究所/センターを利用した研究活動。
- ・ 科学研究費補助金などの外部資金による研究。

(2) 教育：ICUは教育を重視する大学であり、少人数・対話型授業を基本としています。教員には以下のようなことが求められます。

- ・ 助教以上の教員は、学部の専門科目だけでなく、一般教育科目や大学院科目も担当すること。
- ・ 学生が自ら思考し、専門を深めていけるような双方向授業を行うこと。
- ・ アドヴァイジー学生に対するアドヴァイザーとしての学修指導（助教以上の教員は卒業研究指導を含む）、および、オフィスアワーなどを通じた、学生へのきめ細かな指導。
- ・ 所属するメジャーまたはプログラムの学生指導やカリキュラム改善に積極的に協力すること。

- (3) サービス：教育・研究活動以外にも、大学構成員の一人として、大学運営に携わるさまざまな任務を遂行することが求められます。
- ・ 所属するデパートメント（学部）、専攻（大学院）、プログラムなどにおける各種会議への出席。
 - ・ カリキュラムや学生生活に関わる委員会の委員としての活動。
 - ・ 受験生リクルーティング活動や入学試験への協力。
 - ・ 大学主催行事への協力。

教員組織の編制方針

- ・ 大学設置基準等関連法令の要件を満たし、少人数教育の維持に必要な数の教員をもって教員組織を編成します。
- ・ 専任教員（次項の講師を除く）を採用する分野は、大学全体のカリキュラムの将来的な構想に基づいて決定します。
- ・ 講師（リベラルアーツ英語プログラム、日本語教育課程、世界の言語、保健体育プログラムの専任教員）は欠員の補充を原則とします。
- ・ 国際公募を基本とし、国籍やジェンダー、職位構成のバランスに考慮した採用を行います。
- ・ 専任教員に対しては、多様なファカルティ・ディベロップメント活動及びファカルティ・リトリートを行い、教員の資質向上を図ります。
- ・ 教授は、新任教員のメンターとして任用されると共に、昇任推薦委員会の構成員となります。それらの任務を通して、助教及び准教授の教育・研究・サービスの状況を定期的にレビューし、助言や支援を行います。
- ・ 役職への任用、昇任等は、諸規程に基づき、公正に行います。